

ヘモグロビンA1c(HbA1c) 国際標準化への変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、日本糖尿病学会より発表されたヘモグロビンA1cの国際標準化の基本方針に対応すべく、下記項目の検査内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

変更実施日 平成24年 4月 2日(月)ご依頼分より

1. 新規項目

国際標準化(NGSP値)によるヘモグロビンA1cの受託を開始いたします。

項目コード	検査項目	検査方法	基準値
1356	ヘモグロビンA1c(HbA1c NGSP)	LA	4.6 ~ 6.2 (%)

2. 変更項目

JDS値はNGSP値から換算してご報告いたします。

項目コード	検査項目	検査方法	基準値
0356	ヘモグロビンA1c(HbA1c JDS)	LA	4.3 ~ 5.8 (%)

* 総合検査案内掲載頁 40頁参照

3. 変更一覧表

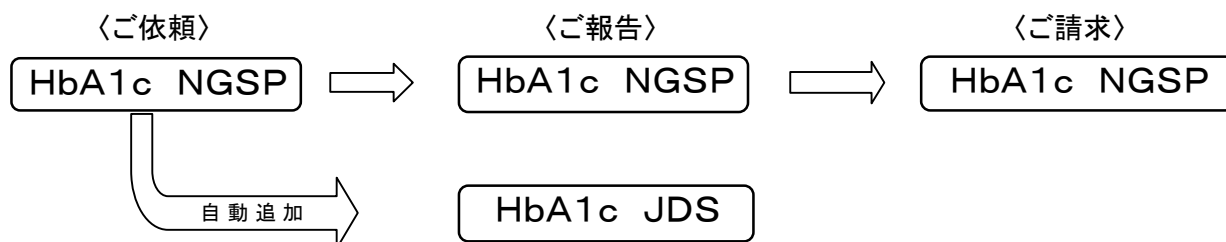
項目コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
0356	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	項目名称	ヘモグロビンA1c (HbA1c JDS)	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	従来項目にJDS 値の表記を追加 しました。
		検査方法	計算法	LA	

* JDS値(%) = 0.980 × NGSP値 - 0.245%

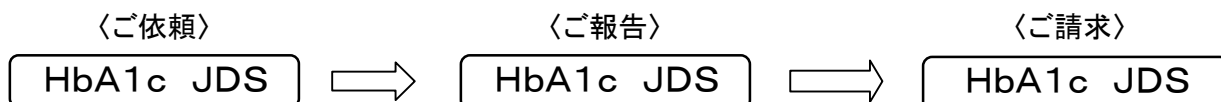
日本糖尿病学会より、平成24年4月1日より日常臨床についてはHbA1cの値は国際標準値(NGSP値)を用い、当面の間はJDS値も併記し、特定健診についてはシステム変更や保健指導上の問題を避けるため、平成24年4月1日～平成25年3月31日の期間は、受診者及び保険者への結果報告のいずれも従来通りJDS値のみを用いるという基本方針が発表されました。

弊社では下記2種類のご報告をさせていただきますので、宜しくお願い申し上げます。

1) NGSP値をご依頼いただいた場合



2) JDS値をご依頼いただいた場合



【ご依頼に際しての基本運用について】

- ◆ HbA1c(NGSP)は、新設する項目コードで運用いたします。
〔1356〕 HbA1c (NGSP)
- * 総合検査依頼書に記載された「ヘモグロビンA1c」でご依頼された場合はNGSP値とJDS値の両方を検査報告し、請求は1項目とさせていただきます。
- ◆ 〔0356〕 HbA1c (JDS)は、現行の項目コードで運用いたします。
- * ご依頼の際は、総合検査依頼書の指示事項欄に「HbA1c JDS」と記載して下さい。

【ご報告に際しての基本運用について】

- ◆ NGSPのご依頼をいただいた場合、NGSP値とJDS値の両方を併記いたします。
- ◆ 負荷試験報告書につきましてはNGSP値のみを印字いたします。
- ◆ 顧客セット検査に登録されている特定健診・行政健診・企業健診・ドック等につきましては、JDS値のみのご報告となります。
(NGSP値の併記が必要な際はセット内容を変更する必要がありますので事前にご連絡を下さりますようお願いいたします。)